

日本で身体障害者手帳を所持する視覚障害者は約31万人です。本号では視覚障がいに関わる活動をしているサポート団体を紹介します。

誰にでもやさしい環境をつくりたい

視覚障がいサポート団体 FANeyes

視覚障がいサポート団体 FANeyes 代表：松村有紀子 2022年4月に設立して約3年。現在スタッフ8名。中途のロービジョン（弱視）視覚障がいになった自分から見てきた事を活かして活動することは、誰にでも共通するやさしい環境づくりにつながるのではと思い、様々な活動にチャレンジしています。

FANeyes 代表の松村有紀子さんにお話を伺いました。現在のスタッフ8名は、イベントの運営、文章・チラシの作成など、それぞれの得意分野を生かしたり、新たなことにチャレンジをし共に成長しながら活動しています。最初は一人で始め、何も出来なかったのですが、みんなの力が合わさりやりたかった事がカタチになり活動できているそうです。以下松村さんにお話いただきました。

「団体を立ち上げたきっかけは、100万人に一人と言われている難病の中毒性表皮壊死症を突然発症し、生きていることすら奇跡という状況になり、それをキッカケに様々な合併症を発し、徐々に目が見えなくなっていき中途視覚障がい者となったことです。子育ても仕事もしていて盲学校や訓練所などにも通えないため、情報を得られず相談する事も出来ず、白杖の入手方法も正しい使い方も知らないまま、長い間自己流で過ごしてきたので、自分が知りたかった情報を同じような方々に向けて発信できればと思い、この団体を立ち上げました。

現在の主な活動は、ロービジョン疑似体験、白杖歩行体験、ガイドヘルパー体験です。チデパ・NPOフェスティバル・いちよう祭りなどのイベントに参加したり、保育園などへの出張教室をして視覚障がいの事を楽しみながら知ってもらっています。例えば白杖はただ持っているだけではなく使い方には意味があり、ぶつからないように周りの状況を探っていたり、地面をとんとん音をたてながら歩くのは視覚障がい者が居ますというサインだったりします。また白杖を持っている人は全く見えないと思っている方が多いのですが、視覚障がい者の8割以上はロービジョン（弱視）です。白杖は視覚障がい者だけではなく聴覚障がいの人



NPOフェスティバル



いちよう祭り

も持っていることもあるし、全く見えないだけではない、ということを知ってもらいたいです。また白杖歩行体験により、白杖は体の一部であるくらい大切であることや、点字ブロックの上になぜ物を置いたりふさいだりしてはいけないのかを知ってもらっています。目が見えなくても一人で自由に安心して外出できる世界になっていくことを願います。最近歩いていると『一緒にバスに乗りますよ』と声を掛けてくれたり、エスカレーターに乗っていると数人の学生がお喋りしながら、降りるときにちゃんと降りられるかを振り返って見守ってくれるなどの優しさを感じることもあります。『何か必要なことはありますか？』と声を掛けてもらうと嬉しいですね。ただ人それぞれなので、声を掛けられるのが苦手な人もいるかもしれません。慣れた道なら問題ないけれど、初めての場所は緊張します。その時々、人それぞれですが声でのコミュニケーションが大切です。

保育園に行くようになったのはきっかけがありました。ある時お母さんと一緒にいたお子さんが私の白杖を見て、『お母さん、知ってる？あの方は目が見えないんだよ』と言うと、お母さんは失礼だと思って注意したのです。こうすると子供は白杖を持った人には触





保育園訪問

れてはいけないのだと思ってしまうこともあります。『白杖の意味を知っているなんてすごいね、ではどうしたらいいと思う?』と親子で話すようにしてもらえればと考え、保育園に訪問するようになりました。小さな子でも充分色々なことを知っていて理解できるし興味も持ってくれているので、視覚障がい者の事を正しく知ってもらいたい。これは視覚障がい者だけではなく他の障がいをお持ちの方、高齢者や怪我や体調をくずした方など誰にでも通じることで、皆がその様に優しくあたたかな心を持っていれば安心できる世の中になるでしょう。

また、2024年度はキリン福祉財団の助成を受けられることになり『災害時支援バンダナプロジェクト』を始動することができました。災害時支援バンダナとは災害時の避難の際や避難所、あらゆる時に支援を受けやすくするためのもので、いつも使うカバンにお守りがわりに入れ持ち歩いて、いざという時に役立てて欲しいです。様々な方にご協力いただき、布の購入するところから1枚1枚大切に想いを込めて手作りし、無料配布しています。合わせて障がいや身体に不自由があっても参加しやすい地域防災訓練の必要性を感じ、「視覚に障がいがある方のための防災訓練」や「だれでも福祉防災訓練」を実施しました。仮設トイレや避難所のことなど実際に見て触って知ることで、災害時の不安や避難へのハードルを下げ、万が一に備えることができると考えます。『災害時支援バンダナプロジェクト』の実施とアップデートしながらの継続により、少しでも安心と命を守ることに繋がればと思っています。



配布した「災害時支援バンダナ」と制作風景

他にも一人で歩くことをサポートしてくれる「あしらせ2」(靴に付いたナビゲーションアイテム)の体験会や、視覚障がい者にとって便利なスマホ機能などの紹介も実施しています。都心まで行かずとも八王子でも気軽に体験してもらえるようにしていきたいです。また障がい者スポーツ指導員初級を取得し、ロービジョンフットサルの普及活動にも取り組んでいます。」

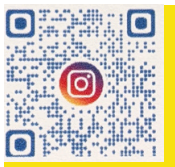
FANeyesの活動を始めて今はとても楽しいそうです。病気の発症後や目が見えなくなったことで、外に出たり人と関わるのがこわくなり、家から出られなくなった時期もあったそうですが、病気も見えないことも貴重な体験だと切り替え、この経験を活かしながら自分の存在意義を探求したそうです。失われていたかもしれない命とわずかに残った視力を大切に、また人との出逢いやつながりを大切に、これからも色々なことにチャレンジしたいと話していました。

インタビューのあいだ中、松村さんは常に笑顔が絶えず前向きな姿勢でした。インスタグラムやフェイスブックに記事をアップするのも、自分と同じような境遇の人たちの助けに少しでもなればと言っていて、他人を思う優しい気持ちが常にあるように感じました。「誰かの為に生きてこそ、人生には価値がある。」とのアインシュタインの言葉を思い出したのでした。



福祉防災訓練

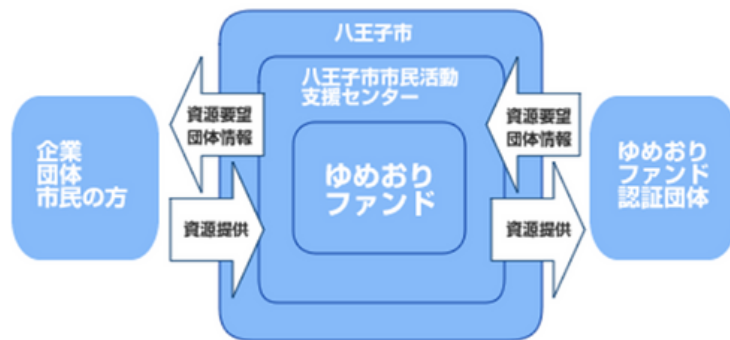
情報発信としてフェイスブックやインスタグラムなどでよくアップしています。普通の人なら1~2分で出来ることが30分もかかり誤字脱字がとて多くなってしまい、アップした後も何度も編集しなおしたりして大変です。でもやれば見てくれる人もいて頑張って情報発信しています。



八王子市市民活動支援センター ファンド事業部より

■ゆめおりファンドって何？

企業、大学、団体、市民の方々から寄付いただいた物品や資金そして多様な人財などのいわゆる運営資源を、地域課題に取り組み、住み続けたいまち、元気なまちづくりのために活動しているNPO・市民活動団体へとつなぐしくみ、それがゆめおりファンドです。



■支援している運営資源

1) 物品支援

企業・大学・団体・個人の皆さまから寄付いただいた事務用品、文房具、テーブル、椅子、棚、机などの物品を、様々な地域課題の解決や活性化に取り組んでいる団体に提供し、活用いただいています。

ゆめおりファンドの趣旨にご賛同いただき、物品を寄付したいとお考えの方は、下記の支援センターまでお問い合わせください。

あなたのチカラを必要としているヒトがいる
あなたの求めるモノを持っているヒトがいる

2) 人財支援

自身の経験や知識、技術や資格を地域や社会に役立てたいと思う市民（個人や企業、団体）と支援を求めているNPO・市民活動団体を結ぶことで、市民同士の協働と市民活動の一層の発展を目指しています。

みなさまは「プロボノ」という活動があるのをご存知ですか。一般的に「社会的・公共的な目的のために、職業上の経験やスキルを活かして取り組む社会貢献活動」と訳されています。支援センターにはプロボノ活動をする人（プロボノワーカー）を登録する制度があります。私も参加したい、参加できそうという方はぜひ経験やスキルをご登録ください。プロボノワーカーとの協働を希望するNPO・市民活動団体のみなさまもお気軽に支援センターにお声がけください。

〒192-0083 八王子市旭町12番1号ファルマ802ビル5階
TEL : 042-646-1577 FAX : 042-646-1587
Email : npo802@shiencenter-hachioji.org

予告!!

はちおうじNPO
フェスティバル
2025

今年も「はちおうじNPOフェスティバル」を開催します。昨年同様、会場は東京たま未来メッセとえきまえテラスですが、開催日が早くなり、8/24(日)の真夏のフェスティバルとなります。近いうちに参加募集開始します。



お電話による会議室 予約受付時間が変わります



受付時間
13時～17時(午後のみ)
(※2025年4月1日より実施)



オンラインによる予約をご利用ください
(AM9～11時のメンテナンス時間以外なら何時でもご利用できます。)

1. 予約方法

- ①Web：システムメンテナンス時間を除く毎日
- ②電話：開館日の13時～17時
- ③窓口：開館時間内

2. 予約開始日時 ⇒⇒⇒ 2カ月前の同日 先着順

- ①Web：11時から
- ②電話：13時から
- ③窓口：10時から

	▼9:00	▼11:00	
①Web	システムメンテナンス	受付可能	
		▼13:00	▼17:00
②電話		受付可能 (休館日を除く)	
		▼10:00	▼17:00
③窓口		受付可能 (休館日を除く)	休館日、日曜日は受付不可
			▼21:00

八王子コミュニティ活動応援サイト

はちコミねっと

市民の皆さんのコミュニティ活動を応援する市の公式サイトです。まちで活躍するさまざまな市民活動団体のイベント・講座のお知らせや、募集情報などを紹介しています。



二次元コードから
はちコミねっと
に入れます



パソコンの画面



スマホの画面

<https://hachikomi.genki365.net/>

こんな
検索も

- 団体を探す
- イベント・講座を探す
- 助成金情報を見る
- 活動レポートを見る
- 施設の情報をみる
- ブログを見る

「はちコミねっと」の使い方について

基本講習会 (要予約)

3/ 20 (木)祝 14:00～15:00
4/ 17 (木) 10:30～11:30

個別相談会 (予約不要)

3/ 6 (木) 10:30～12:00 4/ 5 (土) 15:00～16:30
3/ 11 (火) 10:30～12:00 4/ 17 (木) 11:30～12:30
3/ 20 (木)祝 15:00～16:30 4/ 22 (火) 10:30～12:00

■八王子市市民活動支援センター開館情報■

3月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

4月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			

開館時間：10時～21時・日祝は17時まで
休館日：月曜日（祝日の場合は翌火曜日）

指定管理者：
特定非営利活動法人 八王子市民活動協議会



〒192-0083 八王子市旭町12番1号ファルマ802ビル5階
TEL：042-646-1577 FAX：042-646-1587
Email：npo802@shiencenter-hachioji.org